

34. 小児血液腫瘍

○

○:専門とするがん △:グループ指定により対応しているがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり △:グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×:なし ○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日						各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	化学療法	移植			放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
				自家末梢血幹細胞移植	血縁者間同種造血幹細胞移植	非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植	体外照射	全身照射			治療内容	治療実績	医師の専門分野
1 小児血液腫瘍科	4	4	状況 ○ 実績 あり	○	○	○	×	×	HLAが合わない移植やミニ移植に積極的に取り組んでいます。	ア http://www.byouin.city.osaka.lg.jp/ocgh/department/syouini/k_s.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
										イ http://			
2 放射線腫瘍科	3	3	状況 × 実績 なし	×	×	×	○	○		ア http://www.byouin.city.osaka.lg.jp/ocgh/department/rinsyou/h_s.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
										イ http://			
3			状況 実績							ア http://			
										イ http://			
4			状況 実績							ア http://			
										イ http://			
5			状況 実績							ア http://			
										イ http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫 急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、非ホジキンリンパ腫
------------------------------------	---